

平成28年度第1回 高砂市文化振興審議会

日 時 平成28年 9月 5日 (月) 16:30～
場 所 高砂市役所南庁舎5階 会議室

出席委員	会 長	田端 和彦	委 員	唐津 哲男
	副 会 長	岩見 一美	委 員	高橋 賢吉
	委 員	原 英俊	委 員	前田 栄一
	委 員	天野富美男	委 員	松本 克英
	委 員	渡邊 紀子		

欠席委員 委 員 森本 幸吉 (代理出席者) ●● ●●

出席事務局職員

市	長	登 幸人
健康文化部長		岸本 修
健康文化部		
くらしと文化室長		増田 浩之
健康文化部くらしと文化室		
文化スポーツ課長		森岡 修平
健康文化部くらしと文化室		
文化スポーツ課主幹		前川 吉也
健康文化部くらしと文化室		
文化スポーツ課係長		山野 晃路
教育部学校教育室長		瀧野 祐一
教育部教育推進室長		木村 敏郎
教育部教育推進室生涯学習課長		阿部 伸也

協議事項

- 1 開 会
- 2 あ い さ つ
- 3 議 題

- (1) 平成27年度事業結果報告について
- (2) 平成28年度事業について
- (3) 高砂市文化施設及び体育施設のあり方に関するアンケート調査結果について

- 6 そ の 他
 今後のスケジュール
- 7 閉 会

(午後 4時30分 開会)

○事務局

定刻になりましたので、ただ今より平成28年度第1回高砂市文化振興審議会を開催いたします。

審議会を開催する前に、当審議会の公開についてですが、「高砂市文化振興審議会の運営に関する規程」に基づき公開とさせていただきます。が、本日傍聴希望者はおられないことをご報告いたします。

さて、委員の皆様におかれましては、たいへんお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

まず、お手元の資料の確認をしておきたいと思えます。

(資料確認)

では、次第により進めていきたいと存じます。

○事務局

まず、開催にあたりまして、登高砂市長よりご挨拶をお願いいたします。

(登高砂市長 あいさつ)

○事務局

ありがとうございました。

○事務局

続きまして、会長よりご挨拶をお願いします。

(会長 あいさつ)

○事務局

ありがとうございました。

それではここで、平成28年度の人事異動に伴いまして事務局職員の変更がございます。

順次、自己紹介をさせていただきたいと存じますので、本日お手元に名簿をお配りしておりますので、そちらの方でご確認いただきたいと思います。

それでは、部長の方から順次お願いいたします。

(事務局職員 自己紹介)

○事務局

それでは、ここで市長の方が所用のため退席させていただきます。

市長、どうもありがとうございました。

○事務局

本日の会議ですが、出席者が9名、欠席者が1名により、審議会規則第5条第2項の規定により、過半数が出席されているため、会議は成立しておりますことをご報告いたします。また、代理出席についてですが、代理出席は審議会の定足数に含めない、代理出席者には審議会における議決権は付与しない取扱となっておりますので御了承のほうよろしく願いをいたします。

次第の3番目、議題へと移りたいと思います。

これより、議事進行を会長にお願いしたいと思います。

会長、よろしくお願いをいたします。

○議長

それでは、私のほうで議事を進めさせていただきたいと思います。

まず、議題の第1番、平成27年度事業結果報告についてご説明、事務局からお願いをいたします。

○事務局

A4横の27年度事業結果・28年度事業、こちらの資料で説明させていただきます。

まずは、1ページをお願いいたします。

表の右上、評価の説明です。評価につきましてはS、A、B、Cで評価いたしまして、Sが目標以上に実施、目標以上の効果を上げ実施、Aが目標どおりに実施、Bが一部目標未達成、目標以下の効果で、Cが大部分目標未達成となっております。それと、予算の横のバーにつきましては、事業費のみ、予算額が算出できないもの、あるいは実行委員会等、市の予算ではないものを示しております。

それでは、大まかなところだけ説明させていただきます。

まず、1-1-1、一番上、文化スポーツ課の高砂文化教室「高砂学」におきましては、講座編を9回、活動編を5回、謡曲編を5回実施いたしました。講座編では、播磨国風土記、天竺徳兵衛、北浜町のあゆみ、戦後70年、荒井地区の歴史、美濃部達吉とその家族、高砂の浄土真宗、石の宝殿についての講座を行いました。また、活動編におきましては、高砂地区、曾根地区の町歩き、それと高砂染めの体験、風景の写生、宮本武蔵が残した「二天一流」の体験を実施いたしまして、高砂について学ぶ機会を設けました。

上から3番目、1-1-1、文化会館におきましては、昨年度、「能楽ことはじめ～お稽古の効用～」と題しまして、初心者向けの能楽講座が開催されました。参加者は108名の参加がありました。講演会のこういった開催によりまして、能楽についての関心を高めることができました。

その下の、また1-1-1、次の謡曲・仕舞講座ですが、謡曲・仕舞体験講座が28年1月から5回行われまして、10名の方の参加がありました。そこで、謡曲「高砂」を歌い、また仕舞を舞うことができるようになりました。

その下、1-1-1、都市政策課のところ、歴史学習会ですが、これにつきましては、伊保地区におきまして目標回数が達しなかったためにB評価になっております。

都市政策課、タウンウォッチング、歴史学習会ですけども、これはもともと、みなとまちづくり構想の行動計画の一環でも実施していたもので、荒井、伊保、曾根の地区でやっておりました。現在は、曾根地区は自立して、自分たちで活動してやっております。荒井と伊保については事務局も一緒になってるんですけど、荒井につきましては、ふるさと再発見し隊というグループで、月1回受けております。伊保も活動されております。

事務局、都市政策課でも、要所要所では事務局も今も一緒に行くことがあるということでございます。

次、2ページの一番上、秘書担当です。市政施行記念式典において謡曲「高砂」を謡っております。こちらの予算につきましては、謡曲合唱団に対する報償金として記述がされております。市政施行記念式典と、あと新春交礼会において、謡曲「高砂」を謡っております。

その下の、上から3番目、生涯学習課の行事において謡曲「高砂」を活用ですが、27年度につきましては、適当な機会がなく、実施ができなかったためにB評価となっております。

その下の、産業振興課の地場産業人材育成等支援事業ですが、これは松右衛門の帆布織職人を育成する事業者に対する支援で、織職人の二、三人の育成を目標にしております。織職人の育成につきましては、早くても3年ぐらいは必要なためにC評価になっております。ちなみに、27年度予算と28年度予算の金額が違いますが、27年度予算につきましては設備、27年度、実習をするために機械を買ったり、置く場所を借りたりとか、そういった購入に対しての設備の補助をしております。織るための設備を、高砂でも織るためのということで補助を行っております。28年度につきましては、そういった生産拠点として、実習とか育成のための費用については補助することになっております。主に講師謝礼金であるとか材料費、教材に使う糸が非常に高いものですので、そういったものについて補助の対象となっております。備品についても購入する予定もありますが、それについては自費で行うということでございます。

2ページが一番下、文化スポーツ課、高砂こども狂言ワークショップ（出演型）です。これは従来、行っております幼稚園、保育園での巡回講座に加えまして、子育て応援フェアのプログラムに取り入れていただきまして、応募のあった11名が特設舞台において、来場者の前で謡曲「高砂」を披露いたしました。また、子育て応援フェアの来場者に対しましてワークショップを行いまして、謡曲「高砂」をみんなで謡いました。

5ページをお願いいたします。上から4つ目、図書館ですが、図書館の読み聞かせボランティアです。成果ですが、記載が漏れておりまして、成果・成績としましては、読み聞かせボランティアのグループが読み聞かせで活動し、勉強会を行っておるんですけども、27年度は8回実施いたしまして、100人の参加がありました。成果・成績、「8回実施、100人参加」に訂正をお願いしたいと思います。移転に伴い10月から2月にかけては、休館のために未実施となっております。

次、9ページをお願いいたします。上から2段目の文化スポーツ課の市美術展ポスターです。市美術展の開催に伴いまして、市内の高校から市美術展のポスターの募集を行いました。

11ページをお願いいたします。下から3行目、生涯学習課のふるさと文化財の登録について、27年度については登録がなかったためにC評価となっております。

12ページをお願いいたします。一番下の文化スポーツ課、高砂ゆかりの人物の事業

のところ、2-1-5です。高砂ゆかりの人物顕彰としまして、平成27年度は森はな先生の顕彰事業を開催いたしました。これはゆかりのある朝来市、加古川市、高砂市の3市で連携して行いました。内容につきましては、アウトリーチとしまして、各幼稚園、保育園、8地区で琴の伴奏を入れた大型紙芝居で森はな作品の鑑賞をしていただきました。また本公演としまして、オープニングで聖パウロ生石保育園児と先生による合唱、また、保育園、幼稚園有志による60周年記念につくられました「わがまち高砂」を披露していただきまして、森はな先生の代表作「じろはったん」を市原悦子さんに朗読していただきました。当日は702人の参加がありました。

13ページをお願いいたします。2-1-5総務課、庁内の電話待ち受けBGMです。庁内電話の待ち受け音を「わがまち高砂」に変更を予定しておりましたが、行いましたところ、電話交換機の性能上、明瞭に聞こえないために変更が実際できませんでした。できなかったためにC評価となっております。今現在、従来の「月の沙漠」にまた戻しております。

2-2-1、真ん中あたり、総務課（市史編さん）です。市史に関する歴史的史料の収集、保存、整理ですが、市史の刊行の資料の整理等できていないためにC評価となっております。

この下、2-2-2、同じく総務課（市史編さん）の高砂市史刊行事業ですが、市史7巻の刊行がおくれましたためにB評価となっております。

15ページをお願いします。2-2-7文化スポーツ課の謡曲「高砂」のCDの配布ですが、市民課窓口へ婚姻届を提出された御夫婦に、謡曲「高砂」のCDを贈呈していただきますけども、27年度は市美術展の入賞者であるとか、また他市からの視察があった場合等にも配布いたしました。目標に達しなかったためC評価となっております。今年度の9月からは窓口だけでなく、宿直に提出された方にも配布をすることになっております。

次、2-2-7高砂分署旧庁舎改修事業です。これは建物が県の近代化遺産総合調査報告書におきまして、旧水道配水塔とともに高砂市内の文化財登録リストで、市有施設唯一の建築物であり、近代歴史的建造物としての価値があるとして改修されました。古い消防ポンプを展示し、過去のパネル展示がされております。

16ページをお願いいたします。上から2番目の3-1-2文化スポーツ課の高砂市美術展です。これは高砂市のさらなる文化芸術振興と、心豊かな人材を育てる機会となることを願って開催いたしました。321人から応募があり、396点の作品がありました。審査員の作品と合わせて、合計220点展示いたしました。3日で1,756人の来場者がありました。また、文化会館ホワイエにおいて、作品を背景にロビーコンサートを実施し、音楽とのコラボレーションも行うことができました。

17ページをお願いいたします。一番上の3-1-4文化スポーツ課の病院、福祉施設の活用です。施設等からの問い合わせもなく、ここは実施していないためにB評価となっております。

3-1-4、その下、市民病院院内コンサートですが、目標回数に満たなかったためB評価となっております。

18ページをお願いします。上から2行目、3-1-5文化スポーツ課、行事開催時における各団体の紹介ですが、目標回数に満たなかったためB評価となっております。

19ページの一番下の3-1-10文化スポーツ課、市民ギャラリーの紹介ですが、新たな調査等ができなかったためにB評価としております。

20ページをお願いします。3-2-1各課となっておりますけども、広報たかさごへの掲載ですが、文化スポーツ課で45件を掲載いたしました。また昨年度は文化連名加盟団体の紹介を10月号から3月号まで、2団体ずつ12団体掲載いたしました。

21ページをお願いいたします。3-2-8、一番下、生涯学習課、郷土学習にかかわる団体との情報交換ですが、市民団体間の情報交換や発表できる場等を設けることができなかったためB評価となっております。

22ページをお願いいたします。一番上の3-3-1文化スポーツ課、各種団体等の連絡会議ですけども、連絡調整等できなかったためB評価となっております。

その下、3-3-1文化スポーツ課、文化振興審議会です。2回開催しましたが、開催日時がおくれたためにB評価としています。

24ページをお願いいたします。上から3行目、3-3-6文化スポーツ課、企業との連携ですが、企業との連携ができなかったためC評価としております。

25ページをお願いいたします。上から2行目の4-1-1産業振興課（高砂市フィルムコミッション）、映画の魅力を伝える事業ですが、高砂市の魅力を折り込んだCMを5話制作しましたが、再生回数が少なかったためにB評価となっております。

26ページをお願いいたします。上から3行目の4-2-3文化スポーツ課（国際交流）ラトロブ・デイ～国際交流バーベキュー～です。当日174人の参加者がありました。目標200人としておりまして、目標人数に達しなかったためB評価としております。

4-2-4文化スポーツ課（国際交流）、語学講座です。受講者数が目標に達しなかったためにB評価としております。

4-2-4文化スポーツ課（国際交流）の国際文化交流会です。講演会をこの年度は2回実施することができまして、多くの方に受講いただきましたためにS評価となっております。

27ページをお願いいたします。上から4行目の5-1-3産業振興課（観光協会）、観光マップ（ガイドブック）ですが、観光マップの作成はなかったためにB評価となっております。

28ページ、上から2番目の5-2-1産業振興課（高砂物産協会）、地域ブランド商品開発促進事業ですが、松右衛門帆布バックの新たな販路が開拓できたためにS評価となっております。

その下の、産業振興課（高砂物産協会）、新ブランドの開発、PR委託ですが、新た

な地域ブランド商品を開発したためにS評価となっております。

29ページの5-2-2、一番上です、産業振興課、「たかさご未来寄附金」の高砂ブランド商品贈呈です。高砂ブランドの記念品の追加や見直しを行いまして、高砂ブランド商品をPRできたことからS評価となっております。

下から4行目、5-2-5産業振興課（高砂アートタウンプロジェクト）です。産業振興課で会議にも参加し、支援しておりますが、成果として現状を見ましてB評価となっております。

簡単ですが、説明は以上でございます。

○議長

事前にお配りしておりますので、大体お目通しいただいてあるかと思えます。事務局には主要なところ、あるいは事務局として少し課題と考えてるところを出していただいているんですが、もちろん先ほどご説明いただいているところ以外でも結構でございます。それぞれお気づきの点あるかと思えますので、どこからでも結構です。何ページの番号何番とわかるように言っていただいで、この事業について、例えば詳細が不明であるとか、あるいは評価が今、A、B、Cについておりますけども、Aだけど納得いかんとか、Bだと納得いかんとかいろいろあるかと思えます。ご意見いただければと思えますがいかがでございましょうか。

例えば、最初の松右衛門帆布のC評価がありました。2ページの1-1-1の産業振興課の分ですが、これは例の地方創生の資金を使ってる分ですよ。これは、いわば機材を入れたということですけども、機材がどれぐらいの金額を占めているのかと、機材は補助金で買って、どこかの、要するに市のものではないという、こういう位置づけなのかどうかとか。こんな言い方したら恐縮ですが、職人が1年で成長することはないことはわかってるので、いきなりこれを出して、成長しませんでしたからC評価だったら、これはずっとC評価になってしまうので、果たしてこの評価の仕方がいいのか気になったんですが、まず金額の構成から教えていただけますでしょうか。

○事務局

具体的な金額等の数字は把握はしてないですけど、実際には機械を買ったりするのに必要な設備投資の費用が必要であるので、そのうちの一部分が予算になってます。一部分を施設の整備の補助金で賄う形でございます。全てではないと聞いております。

糸は、材料費の糸につきましても、ロールで買う形になるそうですが、それが1つでも200万円くらいします。

○議長

そんなにするんですか。ロールで200万円はすごいな。

評価はどうか。変ないい方ですけど、育たないというか、1年で育てること自体がもともと無理な話なので。あるいは1年で育てるプランがつくられていたらまた別ですが、これはどうなんでしょうか。

○事務局

実際、講座は昨年度からも行われておりますので、目標は講座を、一定の講座とか、そういう目標にしておれば、何回講座という形にできてたかもしれないですが、またその講座等につきましては28年度も引き続き行っていくことで、28年度についてはこうした取り組み、全部ではないですが、一部を補助金として交付する形の支援の仕方になってございます。

○議長

わかりました。

どうぞ、このような形で御質問いただければと思いますけど。

○委員

今の件に関して、やはり機材は機織りが、機織りじゃない、帆布だから要るんですかね。それが誰やとか、それはわかるんじゃないですか。市から、それに対して幾らの補助金が出たとか。先ほどの、先生が言われましたけども、私は、1年目はどれどれの目標、2年目はどれが目標を立てる、3年目、そういうふう目標を立てといて、その結果で評価を上げていく、そういうやり方にされていくほうがいいんじゃないだろうかと思うんですが、そのあたりはどうですか。

○事務局

また、目標の立て方等について、そういった御意見がありましたことを持ち帰りまして、こちらから各担当へ申し伝えておくようにいたします。

○委員

費用に関してはどうですか。やはり機械の値段なんかで、きちっと上がってくるはずであると思うんです。それで市から、それに対してどういう取り入れ方をしてるかというのわかるんじゃないですか。

○事務局

実際、担当においては把握はしておるかと思えます。

○委員

ちょっと聞いてても、アバウトすぎると思うんですけど。

○事務局

細かい資料は、文化スポーツ課は持ってないですが、担当には当然あるはずですので、把握はしておるかと思えます。補助金の受付がされてるかどうかも、行っておるかと思えます。

○議長

よろしいですか。多分、担当課じゃないから細かい数字は今、持ってないんだと思いますけども、もしよければ委員の方に後で資料か何か。財政資料ですから、秘密にするものではないと思いますので、お願いします。

それから、大変申しわけないですけど、マイクを使って御発言いただけますか。録音してますので、お願いいたします。ほかの方もお願いいたします。

いかがでございましょうか、ほかにももしご意見、そのあたりございましたら。

では、お願いします。

○委員

メールでも送らせていただいたんですが、この書き方で評価説明と書いてあって、評価の説明は、評価がAに対して説明が書いてあると思うんです。例えばBとあるところでも、目標どおりに実施できなかったからBにしたという書き方もあるんですけど、ちゃんとやりましたよでBという内容が載ってたりするところがあちこちに見られるんです。書く欄が小さいので、成果・成績と評価説明とごっちゃになってると思いますが、その辺もう少しうまく記入していただけたらと思います。

というのは、例えば29ページの一番上の、目標の寄附件数を上回ったということでS。これはこれで良いのし、こういう評価の仕方もあると思いますが、寄附金総額が幾らかも少し気になり、決算額で七百五十何万円が出てきてるわけですから、その辺の割合も気になります。今、言わせていただいたのは、評価の説明が評価説明になってないところがあって、どういう理由で評価されているのかわからないところがあるのが1つです。

その前の28ページの5-2-1の産業振興課で、下2つ、予算2,000万円で、その下も2,000万円になっています。事業名称が違うので結局、高砂物産協会に4,000万円というお金がそれぞれ使われたと捉えたらよろしいでしょうか。

それと26ページの一番下、文化スポーツ課の年に1回が2回に国際交流講演会になったということで、Sで、素晴らしいことだと思うんです。2回なぜ実施できて、次の年の28年度、今年度は1回なのか。2回でSになってたら、2回できないのかという素朴な疑問がありました。

それと25ページ、上から2つ目、CMを制作されたということで、フィルムコミッションがされてるから、これはゼロということですか。B評価で、そちらに幾らぐらいのお金が使われたのかを知りたいです。今、CM回数が5,765回で、夢のシロでつくられた「フォーチュンクッキー」は、すごい視聴回数だったんですが、それと比べて少なそうな感じですけど、幾らぐらい費用が要ったのか少し気になります。

22ページの下から3番目、文化スポーツ課に利用料の減免をすとか書いてあるんです。この減免は指定管理を使ってるから費用が発生してるのか、この下のどこかにも減免するとなってる、費用が書かれてないところもあるんですが、その辺の違いがわからないので教えていただきたい。

21ページの上から2番目の、括弧して観光協会と書いてるところ、190万円というお金、年に1回から2回発行になってるんですけど、3回発行したんですか。何部ぐらいを発行されたのかを教えていただきたいです。

19ページ、一番上の産業振興課のたかさご万灯祭。これはAと違ってS違うかなと思ったりするんです。一昨年と比べても広がってますし、駅前も広がったりして。「高砂市の景観をPRする」とは外れてるかもしれませんが、町あいのにぎわいを広めるということにはすごくされてて、これはSではないかなと思ったりしてます。

2番目のあらい浜風公園の件です。昨年も発言したと思うんですけど、若者音楽のメッカとなるように推進すると書かれてるんですけど、目的が。実際に、日常的に若者音楽のメッカというか、自由に音楽をされているのかどうか、その辺を把握されているのかどうかも知りたいです。一回だけされて、打ち上げ花火的では、事業目的とは離れているかなと思ったりしています。

とりあえず、以上です。

○議長

たくさんあったんですが、まず大きなところで、評価説明と評価が一致してないところが幾つか見られたということです。このあたり、多分、各課へのご要望というか、ご依頼のときに、どのようなご説明があったのかにかかわるので、少しご説明いただいて、今後そのあたり改善すべきところは改善していったほうがよろしいかと思いますが、いかがでございましょうか。

○事務局

評価説明のところ、確かにご指摘がありましたとおりに、評価についての説明でないことを書かれている場合もありました。例えば評価説明となってる欄に、いえば実際の事業についての説明を書かれている分がありました。これは、恐らくそのまま成果とか、成績において、ある程度ここでわかるようなところがあれば、その評価を詳しく書くのがこの書き方なんですけど、評価の説明でなく、事業の説明を、実際にはどうやるとか、こういうふうにしていくということを書いている場合もありましたので、ここは改善していくに当たって評価説明と、それ以外のことを書いている場合もありますので、この見出しの評価説明と、また括弧で特記事項とか何か、そういった書き方にして、そういったことも書けるように改善していきたいなと考えております。

○議長

もう一つは、評価の書き方で、成果で、先ほどお答えにもあったんですけど、成果としてこういうことをやりましたという成果と、職員の育成でもそうですけど、要するにその目的を果たしましたという書き方と2つあるんです。いわゆるアウトプットとアウトカムの違い。そこら辺も、もし明確にされるのであれば明確にされたほうがいいかもしれません。

先ほど、最初に言われた評価の説明が事業概要になってたのは、これはさすがに評価の説明の書き方としてはいかなものかですから、そこは改善していただくように強くお願いしていただくとして。成果の書き方も、一部は、4回事業をやるところを5回やりましたからSですというところもあれば、4回事業をやって、こういう目標を達成したのでAですというところもあるわけです。

つまり何かというと、アウトプットとアウトカムの違い。そこら辺を少し評価の中で、若干見ても、少しそういう違いが出てきたりしていますので、そこら辺、本来であればアウトカムを考えるんですけど、文化行政はなかなかすぐに成果が出てきませんので、アウトプットでも構わないかなと思うんですけど、そこら辺ちょっと。

恐らく、これは事業担当課によって、多分そこら辺、ニュアンスが全部違ってきているように何となく思えるので、そこら辺、先ほど特記事項とおっしゃったけど、例えばアウトプットはこうです、アウトカムはこうですみたいな書き方でも。何かそういうふうには評価の仕方をきちっと、ある程度、文化スポーツ課からご指導いただくのがいいかもしれません。それは御検討ください。あと当然、事業評価をやっておられると思いますけど、事業評価部局とそこら辺、少しすり合わせながらやったらいかがかなと思います。

ごめんなさい、あと幾つか。細かいご質問もあったんですが、お答えいただける範囲で結構ですので、高砂物産協会に4,000万円払ったのかとか、年2回できたものを年1回にするのはいかがとか、フィルムコミッションへの金額ですとか、減免で費用が発生するのはなぜとか、たかさご観詰の発行部数とか、万灯祭はSでいいんじゃないのかと、シーズンニックの話、その他いろいろとこういったことがあったんですが、お答えできるところからで結構ですので、お答えいただけますか。

○事務局

まず28ページの産業振興課（高砂物産協会）にも影響するかどうかと思うんですが、この担当課の、括弧書きで高砂物産協会と書いてあるところは、実際には市でやってる分ではなくて、それぞれ各団体がやっているもの、実行委員会であるとか、観光協会であるとか、そういったところが実際行ってるもので、これについて市の予算としてついで分、各事業についての予算が幾らだったとは書いてなくて、産業振興課、担当課として全体的な予算を記載をしてる場合もあります。

また、これは文化スポーツ課の国際交流もそうですが、……これをつくるときに気づいた点ですが、実際には協会の予算でおいてるもの、市には全く予算をおいてなくて、協会、別の団体でおいてる予算も、わかるところについては記載をしておいてる場合もあります。全く、実行委員会でもわからないのはバーにしてますが、具体的には産業振興課のところ、はっきりしたことは私も把握はできてないですが、恐らく全体的に補助金なり、前後の団体において、こういう補助金、各事業について幾らだったと書いてない場合もあるのかなと思われまます。

26ページ、一番下の国際文化交流会（国際交流講演会）。ここも実際、予算を書きおいてしまってますけども、高砂市では市の予算、実際にはこの予算は全く交付はしておりませんで、これは国際交流協会の予算を記載しておいてます。本来であれば横のバーにするべきだったんですが、金額、こちらで把握してたので記載しておいてます。

ですので、講演会自身も年1回は、協会が事業計画を立てて行っていますが、これにつきましてはALTとして来られている先生が急遽、全く事業計画にはなかったんですが、こういったことができますよというのがわかりまして、そこで直接、国際交流協会にそれをお願いする形で、もう一回、実際に講演会を行って実施しました。そこでたくさんの方がまた来られたということで、S評価となっております。市でやると、実際、予算とあわせてないと、なかなか年度内にすぐに対応できないので、これは協会の実施

事業として、そういった成果があったということでございます。

25ページのフィルムコミッション。これも実際には産業振興課の、フィルムコミッションのことだと思いますが、実際どれぐらい幾らの費用がかかったか、フィルムコミッションの予算、決算になるかだと思います。ただ、ここもゼロとなっていることは、市の予算としては何もなかったのかなと思われま。また、わかる範囲で担当課に照会をかけてみたいと思っております。

22ページの減免の関係ですが、文化スポーツ課で文化会館の減免につきましては、文化連盟に加盟してる団体の分の減免措置を市で予算化しておる金額でございます。

指定管理者で減免措置を行うんですが、減免措置を行う分につきましては、昔は、指定管理は100%減免もあったんですが、今、行っております指定管理者を募集した際には、100%減免という制度をなくしまして、50%減免という形になります。その50%減免にするものにつきましては、市で予算化しまして、文化まつり事業についての基本料金等につきましては、市の予算から指定管理者に支払いをする形に今なっております。

21ページの産業振興課、たかさごの観詰等の部数の発行ですが、部数につきましては、まだこちらでは聞いてませんので、また担当に照会をかけて調べさせていただきま。

19ページのたかさご万灯祭、また、あらい浜風公園につきましても、担当に照会をかけて調べさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

○議長

どうもありがとうございました。委員、いかがですか。

○委員

他団体で、先ほど6万円じゃなくて、1万何がしと話されてる分がありましたけど、それは本当は横のバーにすべきと言われたんですけど、わかっている分については文化に関する費用ということで、括弧書きとかで区別して、わかっているところはわざわざ隠さずにとにかく、消さずにできるだけ挙げていただきたらと思います。

それと、フィルムコミッションさんが市の負担がなしということは、どこから収入を得て取り組んでいるのかなと少し疑問に思いました。

それと減免について、文化連盟とかに半額で減免しているのがいけないとか、良いとかということをお聞きしてるんじゃないかと、どんどん減免して頂いたら良いと思うんです。その下に公民館が載ってて、公民館の減免はゼロだったので、その数字の違いは何でしょうかと質問でした。素朴な疑問で申しわけないですけど、その違いは何でしょうかとということをお聞きしたかったんです。

○議長

先ほどおっしゃったのは、金額のことについては、どういう書き方が適切かわからないので、例えば細かく言い始めると、市の単独予算なのか、先ほど言った国の補助なのかと、いろいろまた言い始めると大変なので。先ほど委員がおっしゃったように、市

の予算なのか、予算でなかったら、例えば団体の金額なのかぐらいはわかるように、そこから辺はご協力いただいてもよろしいかなと思います。

あと、ご質問の趣旨は減免の理由で、これは先ほどご説明がありましたように、指定管理者への半額分の負担を市が行うということで、これはよろしいですね。

ほかいかがでしょうか。何かご質問がありましたら。

○委員

2 ページ目の、先ほどからえらい盛り上がった工楽松右衛門の帆布の件ですが、この機械、1, 0 1 0 万円で既に購入されとるんでしょうか。もしされとるんだったら、どこに置いてあるのか、どこで講習会をしよるのかを教えてください。

○議長

今わかれば教えてください。

○委員

わかりません。

○委員

ミカゲヤさんに置いてありますね。

○委員

ミカゲヤさんはどこにあるの。

○事務局

堀川……。

○委員

堀川。いや、今、今津町の整備で、工楽邸が3億もかけて修理しよる。その中にまたそういった工場ができないもんかいなとか、そこで。

○委員

あれは、池田さんところの横にできとるんですが、ほんとは工楽さんのところでしたかったんやけども住居地区。音出さんなんかから工業地域じゃないとあかんという理由で、工楽さんところではできない。ほんとはあそこでできたらいいんですけど。ということらしいですわ。

○委員

わかりました。

評価についても、3名を指導しようということで、もし3名のうちの1人が一人前になっても、2人目、3人目が半人前やったらCなんでしょうとか。先ほど、評価の仕方を見直したらどうでしょうかと言ったけど、そのあたり検討したらどうでしょうか。

○委員

評価は自己評価ですか。

○議長

各担当課の評価です。先ほどおっしゃったところは担当課に伝えていただいて、評価の仕組みを考えていただこうとは思っております。

おっしゃったとおり、非常に評価の仕方も厳密にA、B、Cを分けてるわけではないので、そこら辺、考え方を少し計画的にすればCはないかもしれないと思います。Cの事業を継続するのはなかなか難しいと思います、本来は。ですから、そこら辺は恐らく年次計画があって、この年度はこれができたから、次も続けていきますというのは本来あるはずですので、そこは担当課よくわかってらっしゃると思います。

○委員

もう一つ、松右衛門ですが今、ちちりにようけ松右衛門で織った鞆がたくさん並んでいます。かなり高価ですけど、趣味の問題かどうか、わしら見たら何か麦わら細工みたいに見えてね。色は、松の緑と海の青と、それから夕日の赤と、いろいろ使って、ああいふ模様になつとるんやという話ですけど、どうももうちょっと高級感が出るようなかばんにされたらいかがでしょうかと。個人的な趣味の問題やと思うんです。値段に合ったような。

それから、高砂分署、今きれいに改修されてますが、これは15ページ、国の文化財として指定をされるように、今、頑張つとるみたいですけど、いつごろになる予定なのかわかりますか。というのは、我々ガイドをして、ずっと町歩きするんですが、どうも南の端っこで、非常に足が向きにくい。でも、高砂神社から十輪寺に直接行きよつたらちょうど途中にあるので、それなりに見るべき場所であれば、立ち寄つてということになるんですけど。高砂の町の中には、ろいろとお客さんに見せたいものがようけあるので、わざわざ南の端っこへ、それだけをといて、今の段階では行きにくいところですね。その辺を、国の文化財になったんやということになったら、またそれなりにお客さんを連れていきたいと思っています。

19ページ、あらい浜風公園。あらい浜風公園の話はよう出るんですが、最近、みなとの丘公園ですか、西港に立派な公園ができとるんで、あれを使って、もちょっといろいろと集客できるような行事を。浜風公園とタイアップしてでも、何かそういったことができないか、またこれから考えていけたらいいんじゃないかと考えてます。

もう一つ、夢のシロですね。わしも4回ほど挑戦したんですが、非常に条件が難しく、仕上げまでにいつも熱出して、寝込んでしまうぐらいろいろあって。その辺もう少しラフに提案できて、そのお金を使わせていただいて、もっと完成させられたらいいのになと思います。これも個人的な評価になるんやけど、こっちのほうが非常に高い、値打ちがあるのに金額がえらい減らされとるなど。しようもないと言ったら悪いけど、余りそうでもないのにかなり金額、ようけ取れとるなど後々でわかるんやけど、その辺がやっぱり。

優秀な審査員の妥当な審査やと思うんですけど、どうもその辺の金額の振り分けがちょっとおかしいところもあるので、その辺をもっと公平に、言い方は悪いけど、公平にということか、みんなが納得できるような振り分けにしてほしいなど、このように思います。

以上です。

○議長

松右衛門帆布をもっと高級化してほしいと、これはお願いするしかないかもしれないので、ちょっとご検討いただきます。

それから、高砂分署の完成年次は、これはわかりますか、整備年次は。

○事務局

文化財を目指してるといふのはあるんですけど、いつといふのはまだ具体的なのは聞いておりません。

○議長

先ほどおっしゃっていただいたように、もしそういうのが完成すれば、観光ルートといふか、高砂の持っている文化財として活用していくといふ、そういった発想はありでしょうか、そしたら。

○事務局

分署の話、またあらい浜風公園等、……もそうですが、今後また市で行っていく行事の参考にしていきたいと思いますので、また持ち帰りさせていただきまして、担当とまた打ち合わせしまして、また後日、回答させていただきたいと思っております。

○議長

よろしいですか。

○委員

はい。

○議長

さっき、ちょっと……。

○委員

今の夢のシロに関して、先にいいですか。

実は、夢のシロに関しまして、一般の市民の方から、これの採点基準とか、なぜそこを選んだか、それが全然わからないとおっしゃるんです。なぜ落ちたかもわからないけれどもと。つけ加えまして、市内で活動しようとするグループを落とさないで、潰さないようにしてほしいという意見も出てたりしたものですから、ちょっとこれ聞きたいなと思っております。

そういった既存のグループ、すごく利益を上げてるところがあるのに、そのところがいつも入ってくると言われてる方もあったんです。私は、このことに関してはわかりませんが、応募された方から意見が出ておりました。

それから、これから始めようとするグループに関しましては、お金とか助成金に関して、必要となるお金が案外ないものですから、そのあたりを審査の考慮の一点にも。もちろん内容がよくなければいけないですが、そこら辺も考慮してほしいという意見が出ておりました。よろしく願いいたします。済みません、

○議長

ここですね。先ほどの話とあわせて、夢のシロをもっと出しやすくしてほしい。それ

から、恐らく委員さんがおっしゃった、一番最初の取っかかりとして出してほしいとか、それから審査の結果について透明化ですね。このあたりは、担当課は一緒でも担当者が違うとなかなかお答えにくいかもしれませんが、もしお答えいただけるのであれば、お答えいただけますか。

○事務局

先ほどの夢のシロの件です。いろいろとお話もいただいておりますが、担当課はくらしと文化室の市民活動推進課になっておりますので、その内容を、ことしも審査もごぞいますし、また募集もしますので、その中で反映させていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

○議長

すぐ答えられないと、今の答えだと。ということで済みません。お伝えいただけるということで、信頼しています。

では、お願いいたします。

○委員

個別のことではないんですけど、これ見てたら多分200項目以上あると思うんですけど、たくさんまとめていただいて大変やと思いますけども、前にも説明があったと思います。ちょっと確認みたいな形になるんですけど、評価は、これは各担当者がしてるんですか、自分たちで。こっちは関係してない。今、議長も、事業評価部局があるとか、それはないわけやね。全部、自分たちの評価が、ということは自己評価してるということやね。

○事務局

この資料の評価は、各担当で評価していただいたものを挙げてます。

○委員

自己評価ですね。その後、問題というたらおかしいんですが、この後、各部局、各課にどう、前も話ししてやったと思うんですけども、どう返していくのか。事務局が、ちょっと担当に言うとお話があったけども、それは担当なのか、課なのか、室なのか、部まで返すのか。また、庁内全域での共通理解はどうなっているのか、その辺が。ちょっとここで話しして、意見が出たよとって、担当に言って、おいしゃっしゃで終わるのか、その後はどうしてるのか。

来年度も予算がぼちぼち始まると思うんですけども、それに反映していきますわね、一種の、これ決算やから。そのことを考えて、その辺の後の、この後の各庁内での対応、どうされているのかお聞きできたらと思います。

○議長

お願いします。

○事務局

当然、こういった審議会、さまざまな貴重なご意見いただいておりますので、それにつきまして反映できるように各課に、担当にまた持ち帰りさせてもらいまして、伝えさ

せていただきまして、今後どうするかということ、将来的なこととなってくるかと思えますので、こちらとしては、こういった意見があったということを知り、回答を得まして、また次に生かすために考えておりますのは、またそういった関係の課で集まりまして、関係者の会議を持ちまして共通認識を図っていききたいと考えております。

○議長

よろしいですか、……。

○委員

やっぱり課ですか。課長の中での話ですか。担当課の課長の話ですか。

○事務局

今、考えておりますのは、関係している担当課長が集まっていただいて、そういった関係の会議を持ちたいと考えております。

○委員

それぞれに全部調べないと意味ないわね、関係。いや、内容的に関係ある部が集まるということですか。

○事務局

主に、ここに報告が出てきてるところの、文化施策の主だったところの関係課を集めて、会議を開催したいなど。

○委員

さっきも言ったように、200項目以上あると思うんですよね。集まって、200項目全部その場で話できないですよ。だから内容的に大体分けて、担当課の反省なり、来年度のするのか、一遍で済みますのか、それはどうなんですか。

○事務局

各担当課で集まっていただいて、そこで集まって会議をすることによって、当然、事業がどうだったとか、各課もそうですし、そういう関係、ほかの課とも共通認識も持ちますし、そういったところの課で集まって開催することによって、また新たなコラボができるところはないかとか、そういったことにも、また発展していくんじゃないかと思っております。

○委員

だから一遍にやるわけ。

○事務局

まずふだんどおり、来年度予算に向けて、そういった会議を開催したいなどは思っております。

○委員

言いたかったのは、例えば学校教育課関係とか都市計画課とか、ある意味大きく違いますわね。そんなん、一緒に集まったって関係ないわという話になると思うんですよ。それぞれ関係のあるような課が集まって、会議を例えば何種類かに分けてするとか、そのほうが実があると思うんです。その辺は考えてらっしゃらない。ただ単に一遍に全部

集めてすると、形式的になってしまうのではないかなという気がせんでもないんですけど。

○事務局

今、済みません。貴重な意見をいただきまして、今、考えていたのは、全部集まって、そういった会議を持ちたいなと思ったんですが、その中の細かいものに分けては、正直、考えてはおりませんでした。

○議長

いずれにしても、ちゃんとこちらの意志が担当課というか担当者に伝わるようにしてほしいというのが意見でございますし、先ほどおっしゃっていただいたように、教育課としては都市計画に関係ないと言えないところがあるかもしれませんから、全体に集まることの意義はわかっているんですが。そういったことよりも、むしろもっとちゃんと伝わるほうが重要ではないかというのが委員の意見だと思いますので、そこらあたりご検討いただいて、有効なフィードバックの方法をお願いしたいということでございます。

○委員

ページ24の一番上、指定管理者のところですか。ここは評価がAです。実は青年の家、多分、指定管理に入っております。なかなか、あそこ評判が悪うございます。それで私たちが縁結びもするのに問題がありまして、文化保健センターの多目的室を使ったといういきさつがございまして、この連携を文化団体が活動しやすい環境づくりや、多様な文化事業を展開するためにやっている、目的が、でありながら実際はそういうふうにいぐあいに行っていないものですが、この評価がA、どのようなところから入ったのかと思うんですが、いかがですか。

○事務局

ここにつきましては、文化スポーツ課で評価を書いたものです。文化スポーツ課と文化会館、指定管理者文化創造プロジェクトですが、そこは当初なかったんですけども、これからどうしていくのか、最低月1回はお互い顔を合わせて、その月の事業進捗状況であるとか、こういったことをした場合ということをしちっと集まって、連絡調整会議というものを行っております。そこで指定管理者と文化スポーツ課とそれぞれ共通認識を持って、事業遂行できておりますので、A評価という形にさせていただいております。

○委員

どうしていくのかだけではないに、実際にいろんな評判は上がってこないですか、この中に、集まるときに。でないと、ほんとにその声を、市民の声を聞いていただかないと、余りにも1つ、2つじゃなかったですね、評判が、悪い評判が。ですから、そこら辺きちんと、いろんなことはちゃんと話し合ってるよというだけでは、それはそのままですよ。だから市民のことを1つも把握してないと、とられてしまうと思うんです。そこら辺のやり方を、市民の声を吸い上げる方式に、プラスして行ってほしいなと思うんです。そのあたりはどうですか。

○事務局

文化スポーツ課としまして、他の施設は文化スポーツ課では全く、指定管理者との関係はどうなってるのか把握はできないですが、文化スポーツ課としましては、文化創造プロジェクトとは月1回連絡調整会議を行うのと、あと、そういった話も連絡調整会議の中に出てきまして、市民の意見はどういうふうになってるのかを捉えていく必要があるということになりまして、28年度から、指定管理者で委員会を設けまして、市民の団体とか、あと各種団体が集まった委員会を設けて、そこで意見をきく場を設けて、それを28年度から行っているところです。

○議長

恐らく、そういういろんな意見があったからそこ、多分、月1回やらないといけないと思ったと思うので、ここから多分、改善が始まっていくと思いますので、評価は恐らくフィードバックしていくと思います。余りに文化スポーツ課が、ここに先例をつけたことで評価をとっているということで、このように御理解いただければと思います。

ほかにまだご意見あるかもしれないですけど、少しお時間、かなり経過しております、どうしてもこれだけという人がおられたらお願いをしたいんですが、いかがでしょうか。本当に申しわけないですけども、ご準備いただいた方、おられるかもしれせんけど。よろしいでしょうか。

そうしましたら、今度、28年度の事業の進捗で、ご説明も少しかいつまんでお願いできますでしょうか。

○事務局

A4の縦の28年度実施計画書をお願いいたします。

これは28年度の資料ですが、前回の審議会において28年度の予定事業のことを説明させていただきましたので、事業の説明は省かせていただきたいと思います。文化スポーツ課で幾らか事業を行いましたので、途中経過について、ご説明させていただきたいと思っております。

最初、1ページ、高砂文化教室「高砂学」です。文化スポーツ課で高砂学を行っておりますが、28年度は、今まで講座中心に行っていたものを見直しまして、28年度は活動編10回、講座編1回、寺子屋編1回、謡曲編5回という形に変更をさせていただきました。

活動編の中で、いろんな活動をしたんですが、例えば荒井地区の町歩きであるとか、高御位山の自然観察会、写生会、浜のかあちゃん調理教室、竜山石を使った事業、また高砂染めといった事業を行いました。講座編につきましては、本年度はオリンピックの年でしたので、オリンピック選手の靴を手がけておりますミムラボに講師をお願いしまして、講演会をおこないました。また、寺子屋編につきましては、申義堂を活用させていただきまして、お琴と狂言の体験教室を実施させていただきました。謡曲編につきましては、8月8日から9月5日まで謡曲合唱団たかさごの指導で謡曲編を行っております。

今年度、実施しました活動編の中で、浜のかあちゃんの料理教室では、高砂のアナゴ

を使った、子供に料理教室を、それと高砂の海でとれる生き物とか料理の仕方とか、海の環境保全についての学習をしまして、その後アナゴを使った料理をしました。

それと竜山石でランタンづくりを行いまして、竜山石を加工して、ランタンを作成いたしました。制作した作品をお借りすることができましたので、今度行われるたかきご万灯祭において明かりをともして展示する予定にしております。

それから高砂染めで、高砂染めは今回2回目だったのですが、こういった料理教室、竜山石とか、高砂染めといったものは応募が非常に多い状態で、実際キャンセル待ちという状態になっておりました。そういった市民からニーズがある教室などにつきまして、来年度もニーズを伺いながら、さらに充実した高砂学にしていきたいと思っておりますので、来年度以降も実施していきたいと考えております。

また今後、文化連盟によるさまざまな文化まつり事業が開催されていきますし、市の美術展についても、開催に向けて準備を行っていただいているところでございます。

17ページ、謡曲「高砂」のCD配布、ここに少し書きました。CD、謡曲普及につきまして、……市民課窓口で婚姻届を出した方には窓口での配布をしておったのですが、関係課と協議をしまして、準備が整いまして、9月からは宿直でも、時間外においても提出された方についてはCDを配布することになりました。

簡単ですが、説明は以上でございます。

○議長

短い時間でしたので、もっともっと細かい部分をお聞きになりたいところもあるかと思いますが、はしょってお願いいたしました。申しわけありません。3月にも事業についての説明がございましたので、今の進捗状況で、先ほどありましたように、キャンセル待ちが出るような行事もあったと、こういう進捗をいただいたということでございます。

この件につきまして、ご質問、ご意見等賜ればと思っておりますがいかがでございましょうか。

どうぞ、お願いします。

○委員

先ほど、文化スポーツ課の17ページにCDの配布の件がありましたけど、目標420件で、予算が7万2,000円ですけど、今の在庫が何枚で、予算に対して何枚作り、目標420枚以上確保しておられるのか、予算額と目標件数が合わないように思うので、どういうふうにされてるのかお聞きします。

○事務局

予算につきましては、まとめて幾らか買っております。今年度は300枚を購入しております。

○委員

途中でわからないですけど、松右衛門の保存整備事業が、どういうことで生涯学習課が担当するのかをお聞きしたいというのが1点。

もう一点は、先日、神戸新聞に載ってましたが、松右衛門子孫が、許可してないのに使っているとありましたけれども、市の見解はどうなんでしょうか。その2点お願いします。

○議長

1点目は16ページの2-2-7になると思います。その部分、これは新規事業になりますけど、生涯学習課が担当するのはなぜかという、こういうふうなご意見。

2番が、状況がわからないので、先ほどのご質問に対してご説明いただけますか。

○事務局

工楽邸の保存事業につきましては、文化財指定を受けているために文化財所管である生涯学習課で行っております。

2点目の、松右衛門の新聞に出てた記事の関係ですが、それについてはこちらのほうでは把握はできておりません。

○議長

よろしいですか。できてないという。

○委員

できてないならしょうがないね。

○委員

……ご説明いただけますか。

○委員

今、答えは、真っ最中ですが、ただ工楽さんから訴えがあったんですが、訴えてる相手が物産協会だったと思うんです。物産協会誘致のちちりのことですけど、ちちり、今、市の観光事業に変わりましたので、市の担当の方が、いうたら市役所を訴えとるのと一緒やと言われて、一応、多分、取り下げられると思います。わかってなかったという相手の発言でしたので。

ご兄弟が、お一人亡くなられましたけど、3人おって、その3人の中でいろいろ意志が合っていないみたいです。ごめんなさい、不確かなこともあるんですけど、一応そういうふう聞いております。わかりませんが、今の流れでは多分、取り下げられるんじゃないかなと。物産協会の方は、取り下げたぐらいでは許されへんとおっしゃってます。という状況らしいです。

○議長

市一体となって頑張っていたきたいと思いますので、よろしく願いいたします。ほか何か、ご意見。……済みません。

○委員

27年度の事業結果の13ページ、上から4つ目の市史編さんの部分ですけど、資料でC評価が出ております。専門知識やノウハウを持つ職員がいないうえ、整理ができていないということで、評価がCになっております。ことしも引き続いて、28年度には、15ページの一番上にございますけど、ことしはこれどういうふうに取り組みされるんで

しょうか。

○議長

それはお願いできますか。総務課なので、担当課じゃないのでお答えにくいと思うんですが、確かに先ほどC評価を得たものが、そのまま予算的にも変わらないような予算で出されているのはいかがなものかというのは、多分、適切なお指摘じゃないかと思います。

もし、わかっているのであれば教えてください。専門家がないから専門家を、例えば雇用するとか、あるいはそういったところに依頼するとか、そういうことでやるんですということであれば、それでも結構だと思うです。もしわかっているならばお願いします。総務課ですからわからないですか、市史編さん室でないと。

わかりました、済みません。

○事務局

今、話題になってます、その辺の事情は若干わかりますので、簡単に説明させていただきます。

市史の刊行が終わった段階で、組織の見直しが行われて、今現在、総務課で市史の資料の管理をやっております。その中で、ここに挙げております予算が、嘱託職員1名の人件費。この嘱託職員といいますのは、もともと市史を刊行している間、約15年ですか、ずっと市史の編さんに携わってきた職員で、知識はあるんですが、何分、嘱託職員1名だけになってしまいましたので、なかなか資料の整理が追いつかない状態である。それと、やはり古文書類になりますと、嘱託職員でもきちっと全体を読み込むことができない、特に江戸時代のものになりますと、やっぱり読み込みできない部分があるというところで、少し事業の推進ができていないのかなと思います。あと、将来的に、この総務課にそういう形で継続して置いとくのがいいのか、そのあたりも議論には出てるんですが、まだそれも結論が出てないということで、28年度も同じ形で、今、継続してるという状況だと思います。

済みません、正確な状況が、今現在どうなっているのかが把握はできてないですが、市史の刊行が終わった段階での話ではそういう流れになってましたので、簡単ですけれども説明させていただきました。

○議長

事情は多分、ここは行革ではないので、行政改革ではないので、お金についてどうのこうのではありませんが、要は目的の終わった事業を継続することの意義と、ここは文化振興審議会なので、文化的意味がどこにあるのかということころは、検討の上で総務課に移ったということですね。つまり、本来やったら教育委員会なり、もうちょっと適切な部局があったら、そこら辺は余り検討のないまま移られたということですね、例えば市史編さんに関しては。事情がわからないので、ごめんなさい、私も。

○委員

つらいとかではなしに、集めた資料が散逸しないようにしておかないと、市の予算が

できて、それからそっち側へ整理ができるという方向でもいいんですが、やはり集めた資料が散逸してしまうと、これはなかなか、また集めることはできないと思うんです。以前も、高砂中学で部屋に古いいろんな資料があったのも、あれもどうなってるかわからないよという話も出てたりしましたから、これはきちっとどこに何があるかという把握だけはしておかないと、もったいないことになると思うんです。

○議長

もし何かあれば。

○委員

今、言われましたように、やっぱりそのあたりは、これからどう考えてもらえるかお聞きできたらなと思ったんです。専門の人がいないでは済まされない問題だと思います。私も全部、市史集めましたけど、あれを編さんされるのは非常に大変なお仕事だったなと思っております。だからこそ、余計に次の段階というのか、高砂の文化を後世に残していくために、やっぱり担当がいらないからできません、わかりませんという次元の問題ではないなと考えまして、今、質問させていただきました。

○議長

よろしいですか、こういったご意見でございますので。文化振興審議会としては、そういう考えを持っているということでもよろしいでしょうか。

○事務局

貴重なご意見いただきまして、ありがとうございます。ぜひ、その辺も文化振興審議会のご意見として承りまして、組織としても、個人としても各組織に伝えるようにして、資料が散逸しないように、またまとまるように、貴重なご意見を反映させていただきますので、よろしくお願いします。

○議長

よろしいですか。

○委員

同じ意見なんですけど、提案というか。先ほど、夢のシロという話もありましたけど、古文書の会で夢のシロに応募して、先ほども言われてましたけど、大変ないろんな準備をしたりして、少額のお金がやっともらえるということでもされてますが、そうではなくて逆に、市が1名の嘱託職員だけではなくて、そういうボランティアの会や、手伝ってやろうという方がいらっしゃると思うので、貴重な文化財の書類ばかりですから、貴重な知識を持っている人たちに声をかけて、もっともっと早く進めていただきたいです。古文書を読める人がだんだんいらっしゃると思うので、ぜひ早く進めていただきたいなと思います。一度、声をかけていただけたらと思います。

○議長

こういう御提案ということで。

ほか何か。もう一度、お願いします。

○委員

済みません。2点ほどお願いします。

先ほど、松右衛門の職人のお話がございましたけど、私が見落としとしてたらごめんなさい、確認ですけども、この職人の募集はどういう形でなされていますか。

続けてお尋ねしたいと思えますけど、2つ目です。18ページの上から2つめ、2-2-8アートタウンプロジェクトの空き家、空き店舗を利用したイベントの情報交換、芸術家に貸し出したりということですけども、実際、活動はどういうふうにご利用されているのか、また外への発信はどういうふうにしてされているのかをお尋ねしたいと思います。

この2点、よろしくお願いします。

○議長

お願いいたします。お答えいただけますでしょうか。

○事務局

この職人は、たしか公募して、募集されていたかと思えます。物産協会が公募して、職人の今、育成の講座を行っております。

それと、アートタウンプロジェクトにつきましては、月何回かはわからないですけど、会議をし、産業振興課が参加しております。

○委員

アートタウンプロジェクトの会議所の委員会です、私が毎回、参加しております。市からも、産業振興課から来ていただいているのが、今は観光交流ビューロー……、実際どんなことをしてるかといいますと、最初、高砂を活性化するために空き家にアーティストを呼ぼうということで始まっているんですが、実際、アーティストというよりも、今ずっと活動、ここ3年ほど、空き家に事業をされる方の、主に……約十数名、今まで入っていただいています。

あと、ルネサンス高砂、高砂やと絡んでるんですが、ルネサンス高砂、NPO法人のホームページで空き家、店舗の公開をしています。ただ実際、新たに申請も少なく、今はホームページには3軒しか紹介できてないと思えます。ここ1年ほど、ほとんど、途中で一回、……すぐ出てしまっていて、前からのので余り今、大きく動いてはいいです。

過去には、実績も何度か……思うんですけど、今は空き家、店舗の利用は、アートタウンプロジェクトとしては、実績は少なくなっています。

これからですけど、ことし、物づくり部さんで空き家の調査をして、空き家の所有者の方の意志の確認もして、もし載せてもよかったら、ルネサンス高砂のホームページに空き家の紹介もしてると聞いています。それで、もし具体的に進んでいけば、またホームページに空き家の店舗……と思っております。

以上です。

○議長

よろしいですか、先ほどの。

○委員

はい。

○議長

ありがとうございました。

○委員

これも5つの仕分けに分けていただいておりますけども、5つぐらいをどんとまとめて、1つにならんかもしれんかもしれんけど、高砂市全体で行事、文化的な何かやるとか、私は個人的にはスポーツも文化も思ってますが、高砂市全体の中で大きなイベントみたいな。何かそういうのがあったらいいかなという気がするんです。

この中で抽出して、できそうなものを。表彰もあるやろうし、そんな気がするんですけども。来年、無理やろうけど、そういうことも何か考えて、大きな、高砂市の一大イベントとして何か文化的な、市民が集まれるようなものを考えていただけたらと思います。

以上。

○議長

確かに、これは地方創生か何かのときの、市長が出ていただいた会合というか、講演会か何かのときに、確かに市民の方からも、要するに大きなイベントをされてはどうですかというのがあったので、恐らくもしかしたら市長の頭の中にあれば、もしかしたら先ほど、委員がおっしゃったような文化とかスポーツに焦点を当てた形のものができるかもしれない。そうすると、1つの象徴的なところになる可能性はあると思いますので、またそういうことは御健闘いただければと思います。

もう一件、議論があります、3番目です。高砂市文化施設及び体育施設のあり方に関するアンケート調査で、これも事前に調査結果を配布させていただいておりますので、これは特に今後、実は行財政の観点からいいますと、古くなった、ここの場合は市役所も大変、課題になってるんですが、古くなった公共施設をどうするかは非常に問題でございます。もちろん、これは行財政の立場からいうと、人口にあわせて除却しろということになるんですが、ただ利用する文化、スポーツとして利用される側からすれば、そう単純な話ではございません。そういったところでもあって、こういう調査をされてることでございますので、少し概要だけご説明いただければと思います。お願いいたします。

○事務局

次の、文化施設及び体育施設アンケート調査の結果報告について、ご報告させていただきます。

1ページをお願いいたします。高砂市におきましても、多くの公共施設がありますが、老朽化に伴う大規模改修や建替えなどの多くの費用がかかることが予想されております。今後、公共施設の建替えや管理に大きな費用を少しでも軽減していくことを含めまして、文化、体育施設のあり方を考えるために、高砂市文化スポーツ施設整備計画の策定を進めております。その計画策定の基礎資料とするためにアンケート調査を実施いたしまし

た。文化連盟や体育協会などの各種団体や施設利用者などからアンケートをとりました。調査時期は、4月23日から7月31日までで900部を配布しまして、218部の回答、回収率が24.2%でございます。

3ページをお願いいたします。男女比率につきましては、ほぼ同じでございました。

4ページをお願いします。年齢別では、60歳代が最も多くて、若い年代だと少ない回答になっております。

5ページは、地区別の集計ですが、市外の方が24%で最も多くて、次に米田、荒井、伊保、曾根といった順番になっております。

6ページをお願いいたします。居住年数につきましては、「20年以上」が最も多く、「市外に在住」は22%となっております。

7ページをお願いいたします。職業別は、会社員、主婦、無職の順でございます。

8ページをお願いいたします。家族構成ですが、「夫婦のみ」が34%で最も多くて、次いで「親と子、中学生以下の家族がいる」が26%、「親と子、中学生以下の家族がいない」、22%の順となっております。

9ページ、10ページをお願いいたします。文化施設・体育施設の利用頻度ですが、文化施設・体育施設をどのぐらい利用していますかという質問に対しまして、「年に数回程度利用する」の回答につきましては、文化保健センターが26%で最も多くて、次いで「文化会館」が25%、「市民プール」が24%といった順になっております。

本日、お配りした資料をお願いします。報告書の10ページの右側のグラフ見にくいので、それを拡大したものを、本日お配りさせてもらった資料でございます。

これにつきましては、報告書の22ページをごらんください。この利用状況についてお聞きしまして、その中で、回答で3番の「年に数回程度利用する」、また4番の「ほとんど利用したことがない」と、3番と4番に丸を入れた方については、その右で、その理由を選んでいただいております。その理由が、今、配らせていただいた1枚ものの、こちらをごらんいただければと思います。

利用が少ない理由ですが、文化会館、文化保健センターとも利用が少ない理由につきましては、「自分の生活上、利用する必要がない」が一番多く、その次に「無回答」が多くて、その次には「施設の存在やサービスを知らない」といったのが多いという結果でございます。

次、11ページをお願いいたします。施設の見直しの必要性の有無について、今後、何らかの見直しが必要かと思いませんかという質問に対しまして、「どちらかといえば見直しが必要である」が25%で最も多くて、次に「見直しが必要である」19%、「わからない」が14%でございます。

次、12ページをお願いいたします。12ページの、見直しが必要であると答えた理由について、「今後、老朽化による施設の更新（建替え）等で市の財政負担がふえるため」の43%が最も多く、次いで「文化施設・体育施設の維持管理コストを縮減していく必要があるため」が18%、「あまり使われていない施設があるため」が14%とい

った順になっております。

13 ページですが、見直しが必要でないと答えた主な理由について、「文化施設・体育施設の数が増える・サービス内容に不満はないから」が32%で最も多く、次いで「自分があまり公共施設を利用せず、見直しの必要性を感じないため」が31%、こういった順になっております。

14 ページをお願いいたします。14 ページは、今ある文化施設・体育施設を今後も維持し続けるとしたら、施設の修繕や建替えなどの費用が必要になり、その場合、施設利用の有料化や見直し（増額）をしなければならない場合も想定されますが、このことについてどうお考えですかという問いにつきまして、「利用者負担が増えることはやむを得ない」の44%が最も多く、次に「利用者負担は据え置き、他の行政サービスを縮小して費用を確保する」が22%、「わからない」が13%の順となっております。

15 ページ、将来的に文化施設・体育施設を減らしていくとしたら、どのような施設を減らしていくべきだと考えますかという質問に対しまして、「利用者が少ない施設」が48%で最も多くて、次いで「維持・管理費用がかかりすぎる施設」、「一部の個人・団体が使っている施設」、「公共性が低い（民間で運営できる）施設」、「建物・設備が古くなっている施設」21%といった順になっております。

16 ページをお願いいたします。文化施設・体育施設のを適切に管理していくための方策について、「施設を補強（長寿命化対策）し、少しでも長く使えるようにする」「利用していない市の土地を売却・賃貸して収入を得る」では、「積極的に実施すべき」の33%で、最も多くなっております。

また、「施設数を減らす（施設統廃合や機能の複合化・多機能化）」、「近隣自治体と共同で施設を建設・運営する」、「施設の建替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する」、「施設の管理・運営をコミュニティ（地域住民）にまかせる」、「施設を補強（長寿命化対策）し、少しでも長く使えるようにする」、「民間・近隣施設の利用に対して助成する」、「利用していない市の土地を売却・賃貸して収入を得る」では、「どちらかといえば実施すべき」が約3割半ばから4割を占めておりまして、最も多くなっております。

さらに、「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」を合わせた【実施すべき】の割合は、「施設を補強（長寿命化対策）し、少しでも長く使えるようにする」が74%で最も多くて、次いで、「利用していない市の土地を売却・賃貸して収入を得る」72%、「施設の建替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する」68%となっております。

一方、「施設におけるサービスの水準を引き下げる」、「使用料を徴収できる施設の料金を引き上げる」では「どちらかといえば実施すべきではない」が約3割半ばを占めておりまして、最も多くなっております。

17 ページは、ご意見とかアイデアなどを自由記載でございます。施設のトイレ等の設備を新しくするといった内容の意見とか、文化保健センター2階の多目的室を今後も

利用したいといった意見もでていました。

18ページをお願いいたします。主なものとしては、「高砂市の町の規模に合った施設の数でよい。高砂の町の規模にあった大きさの施設がよいとか」、「誰でも利用できるように安価に提供してほしい」、「老朽化が激しい施設が増加しているように思います。老朽化により利用者が激減していることもあると思います。利用者増加を目指し、資源の有効活用を図るためには、使用しやすいものを提供すべきであると思います」といった意見もいただきました。

19ページでは、「高砂の文化、スポーツを盛り上げて行くべきだと思う。年齢層もあがってきている昨今、高齢者が気軽に行ける施設を残すと良いと思う。」といった意見がございました。

それと昨年、調査しました兵庫大学で取りまとめていただきました、文化施策に関する市民アンケートの40ページをお願いします。こちらでは、文化、芸術の設備の満足度につきましては、利用施設の満足度は「満足」が4.3%で、「やや満足」が6.4%、「不満」が7.3%、「やや不満」が11.8%で、「利用したことがない」の比率が30.3%でした。文化芸術団体に加入している人では「利用したことがない」は10.5%で少なかったんですが、「不満」「やや不満」が42.1%を占めておりました。43ページでは、「やや不満」とか「不満」とか回答した方で、この理由につきましては、音響等、設備が十分出ないというのが37.6%、設備の雰囲気がよくない30.7%、駐車場が少ない25.7%で、ハード面に対する不満が大きいといった結果でございました。

こういったアンケートの調査を踏まえまして、今後、施設のあり方について委員の皆様からご意見を承りたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

○議長

予定時間を今、経過しつつあるんですが、少しお時間をいただいて、皆様の中にはこういった施設を利用されてる側の立場、あるいは利用されている団体を支援されている立場ではないかと思えます。ですから、先ほど言いましたように、これからどうしても人口が減少していく中で、公共施設を見直していかなければいけない中で、文化振興審議会として、やっぱりある程度、意見を取りまとめておきたいというのが担当課のお考えでございます。そういった観点から、お気づきの点があればご意見を賜りたいと思います。いかがでございましょうか。

いいですか。

○委員

このアンケートを踏まえまして、いろんなご意見があったんですけど、その中に、暗に施設の廃止の方向で進んでいる様子であると書かれている方がいるんです。でも、現状の設備、施設では不足とこの方は考えておられるようですが、アンケートの中身を見ますと、ページ24、問11の中に「将来的に文化・体育施設を減らしていくとしたら」という聞き方をされてるんです。だから、市民の方にとりましたら、これは暗に減

らしていく方向で進んでいるのではないかと、疑問視されてるような意見もありますので、これからアンケートをとるときには、ちょっと言葉を選ばないといけないのではないだろうかと思うんです。

○議長

アンケート、担当はどちらがされたんですか。担当課は。

○事務局

このアンケートは文化スポーツ課でとったもので、このもとになるのは、経営企画室で市民アンケートがありました。そこにあったものを、文化、スポーツに関するものを拾い出して、文化スポーツ課でアンケートをとったものでございます。

○議長

先ほどご質問があった、削減する方向じゃないかというのは、財政的な判断、要するにもとがそこにあるわけです。ですから、そういう意味で聞き方がどうかというのは確かにありますけども、考え方は先ほど言ったような方向、人口が減っていく中で、今の施設を全て維持することは難しい。そういった中で、市が選択するなり、あるいは、ここにありましたように利用料金をふやして維持するとか、このような議論が出ざるを得ないということでご意見を聞いてるということだろうと思います。

おっしゃってるように、聞き方としてどうかは、確かにアンケートのつくり方としての課題がないわけではない、誘導型ですから、ないわけではないんですけど、もともとの趣旨がそういった趣旨だったということですね。

○委員

調査の目的の中に、その意向ですね、高砂市としても……的なものが余らないということも説明が要るのではないだろうか。でないと、この調査目的だけでしたら、ご意見やご意向をお伺いしというあれだけですから、やはりそれは1つ、別途要るんじゃないでしょうか。

○議長

そうですね、わかりました。

○委員

もとになると思うんですけど、調査の方法は、文化と体育の団体とか利用者だけですね、対象は。ということは、一般市民は入ってないことと、900名で、回答数が24.2%と非常に低いです。普通、上につけるような、RDBとか何か書いて、大体、五、六十%ぐらいの回収率があります。そうすると、もとの信憑性というか、信頼性がどうかと、こんなこと今言ったらあかんのやろうけども、ちょっとそんな気がします。私自身はちゃんと回答しましたけども。

だから、文化と、何か会合したときに書けよともうて、関係者が書いている、一般市民は書いてない。関係者がもらいながらも、出してる人は4分の1やと。その結果がこれというんだったら、そのことも前提に考えないといけないかなと思ってます。

○議長

調査の方法については、私も教えてる人間なんで。数字だけでいいますと、218件であれば、統計的には特に問題ない数字です。300件あると望ましいですけど、218件でも、統計的には問題ない数字ではあるんですが。おっしゃったように、いわば対象者を限定してるところ。そちらが、むしろ。いわば、これは利用者の調査をしたいということですから、目的には合ってることだと思います。

もう一つは、一般市民アンケートをとるとすれば、やはりコストがかかったりする。恐らく、そのあたりのせめぎ合いの中で、このような形に落ちついたのではないかなと思います。ですから、先ほど、委員がおっしゃっていただいたように、これを前提にして、ここから何を読み取るのが大事だろうと思います。ですから、利用者の方のアンケート調査結果だということも前提に読み取ることが大事だというのは、もうおっしゃられるとおりでと思います。

何か、その観点でご意見ありますでしょうか。

○委員

利用者というか関係者というか、そういう方にアンケートをとってるということですけども、13ページあたりでも「自分があまり公共施設を利用せず、見直しの必要性を感じない」、余り利用しないということですけど。私も非常にわかりにくいなという感じはしてるんですが、市民の意見が、今日の全てのいろいろな書類をいただきましたけれど、評価のこともそうですが、本当に市民の声がどこまで反映されているのかなど。市サイドの方々、こんなのまとめるだけでも非常に大変で、いろんなことに携わって、お忙しくされてると思うんですが、市がやっていますよ、市がやっていますよというのではなくて、それはもちろんあっていいですし、やっていただかないと困るんですが、市民の声で、ほんとにやろうとしている意欲的な方、市の文化を発展させよう、それから若い子たちを育てようと、実際動いて、日々、努力なさっている方々初め、高砂の文化を活性化していこうとなされている方々の動きなり、意見なりがどういうふうに反映されていってるんだろうなど、ちょっとそこで市側の動きと、市民の動きに壁があると申しませるか、もう少し寄り添って、力を合わせて何とかならないのかなという気がして仕方がないんです。

夢のシロのこともそうですし、もちろん……のこともそうですが、これほどまとめてくださってるんですが、正直言って、ほんとわかりません、私。これだけのことをやっていますと自己評価をされて出されても、例えば若者のメッカにするという、音楽祭ですか。この中で行かれた方、どのぐらいいらっしゃいますでしょうか。どういうもので、どういうことが行われたのであろうか御存じの方、市の方もですが、実際どういうふうなものが行われたのか。

私、思うんですけど、文化スポーツ課でこうやって開いていただいているんですけど、文化振興の委員にさせていただいてますけど、私は一体何をやって、何ができてるのかなど、会議に出席させていただいて、私のふだん生活の中で知らないことを知らせていただいているんですが、何にもお役に立ててない。お役に立つなんておこがましいことで

すが、文化振興審議会の委員としてほんとに何もできてないし、今後どうしていったらいいのかなということがありまして、そのあたりで文化スポーツ課の方でなくて、ほかの課の方にもこういう機会でお話をお伺いできればいいなど。

市役所の中でも連絡、つながりとかがどうなってるのかなというところで、ほんとに市全体を上げて取りかかっているか、もちろん福祉のこととか、土木のこととか、いろんな問題たくさんあると思うんですけど、文化のことを取り上げても、全体で高砂市を何とかしていこうという気持ちにならないと、とてもじゃないけど少子化になっていって、文化文化と言っても、何がどう発展していくのやら皆目見えてこない気がしてならないんです。

いかがなものか、市の方々、その辺をどうしていこうと。一つ一つは、あれやりました、これやりました、あると思うんですけど、そこら辺がいつまでたってもばらばらな感じ。市民は市民で一所懸命やってらっしゃる方あるんですけど、予算も取れない、体もだんだんしんどくなっていく状況の中で、高砂市をどうしていくんだろうと思って、ごめんなさい、私自身ほんとに力がないために何もできておりませんが。

○議長

実は、事務局には言ってるんですけども、いわば今の計画の見直しをやらないといけないと思ってるんです。今はつくった計画も4年目ですか、そろそろ中間年ですから、見直ししなければいけないだろうと思ってます。ですから、そのときに、先ほどおっしゃった組織の問題、余り取り上げておりませんので、そのあたりを今度、取り上げて、どう進めていくのかを、もう少し検討したほうがよかったかもしれません。そのあたりは、今の段階ではなかなか、恐らく担当課でもお答えできないところだと思います。

実際に文化にかかわる話がこれだけあるんだというのは、これは挙げていただいてよくわかるんですが、これをちゃんとどこまで担当課が理解してやってるのか、そのあたりについては、こちらでもなかなかチェックできないところがございます。ですから、やはり文化振興を、条例までつくって、高砂市における1つの方針であるというのであれば、もうちょっとそのあたりを踏まえた、要するに今度は条例を踏まえた形で新しいプランを考えていかないといけないと思しますので、そのときに進め方といいますか、市民のどんな評価を、もうちょっと議論できればなと思ってます。そのとおりに考えております。

あと、アンケート調査票、今、調査の仕方の問題と、委員からは、公共施設利用者を対象したのに、利用した人がいない、利用したことがないから考えない人が多いのはいかがなものか、多分これは聞き方の問題もあるのかなということで、ちょっと調査の方法で少し焦点が当たってるんですが、調査結果などを踏まえて、何かご意見ございますでしょうか。

私がぱっと見てて、自己負担してもいいよといいながら、例えば16ページの下を見ていくと、必ずしもそうでなくてはなくて、管理運営に民間のノウハウを使いなさいとか、利用してない市の土地を使いなさいという形で、必ずしも自己負担を、皆さん是として

るわけではなくて、そう言いながら施設数を減らすとか、サービス水準を引き下げることに対しては、非常に批判的に捉えてらっしゃるということですから、なかなかこれは持続可能性を考えると厳しいなど、この意見をそのまま反映すると厳しいなど、私、個人的に見て感じたところです。

先ほど、委員がおっしゃっていただいたように、ほんとに市民の皆さんが活動するグループがしっかりやっていて、それを夢のシロとか等で支援をさせてもらってるわけですが、この施設なども支援手法ですか、そういった観点からどう捉えていくのかというのを見ていかないといけない。単なる利用施設ではなくて、いわばこれを使って自分たちの団体を育てていくんだという観点で読み取らないと。

要するにサービスを行政が提供します、市民はサービスを受け取りますという関係の中でこれがつくられてますから。それではなかなか、もしかしたら最適回答を得られないかもしれないというのは、先ほどおっしゃってたところの1つの考え方かなと思いつながら聞かせていただきました。

何かご意見があればお願いいたします。なかなかアンケート調査を読み取るって、結構、実はリテラシーというところなので、今言って、なかなかすぐに答えは出ないかもしれませんが、何かもし気になったところがあればお願いいたします。大体よろしいですかね。

また見ていただいて、ご意見いただける機会がありますか、メールあるいはファクス等でもまたご意見いただけると。私などはちょっと気になってます。ただ、これは本当はクロス集計などしながら、具体的に、先ほど言った本音をどう引き出すのか、ほんとはもうちょっとしないといけないと思うんです。せっかくお金かけてとってるアンケートですから。僕はアンケートをしゃぶりつくすというんですけど、しゃぶりつくす覚悟で読み取らないともったいないかなと思っておりますので、そこから少しご検討いただければなというふうに思います。

そうしますと、今日の審議事項、大体終わりましたので、あとその他のところで、今後のスケジュール、これについてもお願いできますでしょうか。

○事務局

今後のスケジュールですが次回は11月に開催をお願いしたいと思っております。

次回は、29年度の事業計画（案）を各課に照会をかけた上で、担当から出していたものをとりまとめまして、次回この会議で皆さんにお示ししましてご意見をいただきたいと思っております。

○議長

そうしましたら、本日の審議事項は、終わりという事でございますかね。

それでは、今日の……進行が遅れて15分程度オーバーしてしまいましたけれども、すべて終了という事ですので、進行を事務局のほうへお返しいたします。

○事務局

それでは、最後に副会長から閉会のあいさつの方をお願いいたします。

(副会長 あいさつ)

○事務局

ありがとうございました。

それでは、これもちまして散開いたします。

みなさま、おつかれさまでした。